

# 事務事業分析シート（平成27年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-04-01	戦略プラン	<input type="checkbox"/> 協働	<input checked="" type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事
事務事業名	複合施設開設準備費	部課名	地域文化スポーツ部複合施設準備室	課長名	堀	担当者名	村木
				内線	2256		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（27年度）	01-01-01	複合施設建設費					
	01-01-02	複合施設開設準備費					
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 27年度 <input type="checkbox"/> 26年度）			<input type="checkbox"/> 建設事業		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業	
開始年度	<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成		18年度	根拠			
終期設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		28年度	法令等			
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準			計画区分	<input checked="" type="checkbox"/> 計画 <input type="checkbox"/> 非計画		
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進				
	施策	9月1日	芸術・文化の振興				
目的	以下の三つの機能を融合させた複合施設「ゆいの森あらかわ」を、荒川二丁目に整備する。 ・大規模な蔵書をもとに、区民の課題解決等と全ての世代の読書活動を支援する図書館機能 ・荒川区出身の作家吉村昭氏に関する資料の収集・研究・保管を行い、氏の業績を記念する文学館機能 ・子どもに豊かな遊びや幅広い体験・交流の場を提供する子ども施設機能						
対象者等	区民等						
内容	<input type="checkbox"/> 施設全体 ・施設の建設工事、周辺整備との連携 ・三つの機能を融合させ、これまでの各機能の枠を越えた事業を施設全体として運営する仕組みづくり ・「ゆいの森あらかわ」開設に向けた機運の醸成 <input type="checkbox"/> 図書館機能 ・大規模図書館にふさわしい資料の選定及び調達 ・効率的かつ効果的な蔵書管理方式の導入とサービス向上に向けた検討 <input type="checkbox"/> 文学館機能 ・吉村昭氏に関する資料の収集及び研究 ・展示計画の策定 <input type="checkbox"/> 子ども施設 ・遊具や体験教材の調達						
経過	平成18年 4月 これからの図書館調査懇談会報告 平成18年11月 文学館のあり方に関する懇談会の設置（～19年3月） 平成19年 6月 （仮称）吉村昭記念文学館基本構想委員会の設置（～20年3月） 平成20年 7月 （仮称）吉村昭記念文学館推進委員会の設置（～20年3月） 平成21年10月 複合用地取得（経理課において取得）11月複合施設の設置及び運営に関する懇談会の設置 平成23年 7月 （仮称）荒川二丁目複合施設基本計画策定 平成24年 3月 荒川地区都市再生整備計画策定 平成24年10月 （仮称）荒川二丁目複合施設基本設計及び展示基本設計完了 平成26年 3月 （仮称）荒川二丁目複合施設実施設計完了 10月 複合施設の建設工事着手 平成27年 2月 施設の愛称名を「ゆいの森あらかわ」に決定、P・M・Zにより施設運営事業者を決定 3月 開設イベント（講演会）の開催						
必要性	「ゆいの森あらかわ」の整備により、世代や地域、目的が違う人々が集い、交流と経験の共有を通して、知の集積や発信、新たな知的文化活動の誘発や企画が生まれ、荒川地区はもとより、区内全体の知とコミュニティの醸成を図る。						
実施方法	（1直営）（直営の場合 ● 常勤 ● 非常勤 ○ 臨時職員） 施設運営等の検討に当たっては、学芸員の資格等を有する専門の非常勤職員を採用して実施するとともに、専門家や関係団体、区民等から幅広く御意見を伺いながら進める。						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
予算額	8,740	18,857	100,349	226,947	321,106	2,506,894	827,606	
①決算額（27年度は見込み）	6,597	8,386	24,284	223,203	179,656	2,410,597	827,606	
②人件費等	5,701	10,028	12,280	14,044	7,485	21,630		
③減価償却費		3,341	4,510	5,486	3,042	9,103		
【事務分担量】（%）	70	115	145	170	90	280		
合計（①+②+③）	12,298	21,755	41,074	242,733	190,183	2,441,330	827,606	
特定財源	国			27,916	33,990	140,700		
	都							
	その他							
一般財源	12,298	21,755	41,074	214,817	156,193	2,300,630	827,606	
実績の推移	事項名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	関連事業の参加人数（人）						160	

予算・決算の内訳								
平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
委託料	実施設計業務委託等	105,184	工事請負費	建築工事費	2,375,794	工事請負費	建築工事費	651,500
財産購入費	用地取得費	72,489	委託料	工事監理費	28,535	委託料	図書館機能開設準備委託等	167,061
需用費	消耗品費	1,469	報酬	非常勤職員報酬	3,056	報酬	非常勤職員報酬	3,136
旅費	近接地外旅費	316	需用費	消耗品費、印刷製本費	1,256	報償費	アドバイザー謝礼等	1,745
報償費	アドバイザー謝礼	195	報酬	電柱移設負担金	771	需用費	消耗品費、印刷製本費	1,378
使用料及び賃借料	会場使用料	3	報償費	アドバイザー謝礼等	426	旅費	近接地外旅費	1,120
			共済費	社会保険料（非常勤）	412	役務費	商標登録経費	915

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		24年度	25年度	26年度	27年度 見込み	目標値 (28年度)	
①	関連事業の参加人数（人）			200	300	400	「ゆいの森あらかわ」の開設に向けた周知イベントの参加者数
②	整備の進捗率（%）			7	28	100	
③							

（問題点・課題 指標分析）	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ゆいの森あらかわ」の認知度の向上</li> <li>「ゆいの森あらかわ」のサービスを担う人材の育成とボランティアの導入</li> <li>平成29年春の開設に向け、他部署・他機関との調整を行いながらのスケジュール管理</li> </ul>
	他区の実況 （実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区） 図書館、文学館、子ども施設の三つの機能が融合した施設は他区にはなし。

問題点・課題の改善策			
	平成26年度に取り組む 具体的な改善内容	平成26年度に実施した 改善内容および評価	平成27年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	図書館機能に関して、資料の調達や自動認識技術を活用した新たな蔵書管理方式の導入に向けて、その準備に取り組む。	数種類ある自動認識技術について、先進自治体の事例を調査し、より効果的かつ効率的な蔵書管理方式について検討を行った。	資料の調達を進めるとともに、自動認識技術の導入の可否を判断の上、蔵書管理の改善等を図る。
②	研修等を通じて職員の意識改革とスキルアップを図るとともに、より効果的な運営体制の在り方について、区民参加等の検討を行う。	運営体制の基本事項を定めるため先進自治体の運営体制を参考にしつつ運営計画の素案を作成し、併せて関係職員の意識改革を図った。	開館後の講座やイベントの実施に向け、詳細な事業内容の検討を進めるとともに、ボランティアの導入に向けた準備を行う。
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
27年度	28年度	
重点的に推進	重点的に推進	昨年度から建設工事に着手したことを踏まえ、今後は、より効果的かつ効率的な施設の運営体制の構築や、初度調弁の準備、施設の開設に向けた機運の醸成を、より具体的な形で進めていく必要がある。

況議 （要 旨） 問 状	平成22年三定：複合施設へのアクセスの確保及び周辺の景観について 平成23年四定：複合施設の早期実現について 平成24年二定：融合施設の設置に向けた財政的な負担について 平成26年一定：複合施設の運営について 平成27年予特：土地購入、補助金等について
--------------------------	--

# 事務事業分析シート（平成27年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-04-02	戦略プラン	○協働 ●業務 ○財務 ○人事
事務事業名	吉村昭記念文学館推進事業	部課名	地域文化スポーツ部複合施設準備室	課長名
		担当者名	村木	内線
				2256
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（27年度）	--			
事務事業の種類	○新規事業（○27年度 ○26年度）		○建設事業	●それ以外の継続事業
開始年度	○昭和 ●平成	18年度	根拠	無し
終期設定	●有 ○無	28年度	法令等	
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	●計画 ○非計画
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市	
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進	
	施策	01	芸術・文化の振興	
目的	郷土を代表する作家・吉村昭氏に関する資料の収集、研究等を行うとともに、同氏の作品等を基盤とした幅広い文化活動を展開することにより、区民の心を育み、区の文化振興に寄与する。			
対象者等	区民等			
内容	○吉村昭氏に関する資料の収集、整理、保管及びその研究 ○展示計画の策定、展示室の設計、展示物の製作 ○展示活動や講演会を通じた、吉村昭氏と同氏の作品の普及啓発 ・ 日暮里図書館吉村昭コーナーミニ展示 ・ 荒川ふるさと文化館郷土学習室「吉村昭の部屋」ミニ展示 ・ 企画展や講演会の開催 ○文学館の開設に向けた機運の醸成のための友の会の設置や、広報誌の発行			
経過	平成4年5月 吉村昭氏区民栄誉賞受賞 区役所1階で作品展開催 日暮里図書館吉村昭コーナー設置 平成16年4月 区内の各図書館に吉村昭著作コーナーを設置 平成18年7月31日 吉村昭氏逝去 11月 文学館のあり方に関する懇談会設置（～19年3月） 平成19年1月 講演会 6月 文学館基本構想委員会設置（～20年3月）7月 講演会、企画展 平成20年7月（仮称）吉村昭記念文学館推進委員会設置 7月 追悼イベント 10月 企画展、講演会 平成21年6月 企画展、講演会 平成22年6月 企画展 7月 講演会 平成23年3月 朗読会、講演会 9月 パネル展 平成24年3月 朗読コンサート 12月 パネル展 平成25年3月 朗読コンサート 平成26年1月 パネル展、講演会 平成27年3月 開設イベント（講演会） 吉村昭記念文学館友の会設立 吉村昭記念文学館展示等検討委員会設置			
必要性	吉村昭氏の業績を後世に伝えるとともに、吉村作品を通してさらに広範な文学の世界に触れる機会を広く区民に向けて提供することは、荒川区における文化を深めていくことに寄与する。			
実施方法	（1直営） （直営の場合 ●常勤 ●非常勤 ○臨時職員） 文学館の開設準備に当たっては、学芸員の資格等を有する専門の非常勤職員を採用して実施するとともに、文学館推進委員会等を通じて、専門家の御意見も伺いながら進める。			

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	予算額		20,694	21,679	11,974	9,531	11,222	19,464
①決算額（27年度は見込み）		15,672	12,159	5,016	3,612	7,984	16,272	9,289
②人件費等		23,623	25,813	14,950	14,736	15,333	7,725	
③減価償却費			14,525	11,818	12,263	12,844	3,251	
【事務分担量】（%）		500	500	380	380	380	100	
合計（①+②+③）		39,295	52,497	31,784	30,611	36,161	27,248	9,289
特定財源の推移	国							
	都							
	その他							
	一般財源	39,295	52,497	31,784	30,611	36,161	27,248	9,289
実績の推移	事項名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	記念事業の参加人数（人）	90	89	87	85	78	160	
	文学館友の会会員数（人）						200	

予算・決算の内訳								
平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
委託料	レプリカ製作業務委託等	4,953	報酬	非常勤職員報酬	8,113	報酬	非常勤職員報酬	9,289
需用費	消耗品購入、刊行物作成等	1,440	委託料	証言記録映像制作委託等	4,125	委託料	証言記録映像制作委託等	6,267
備品購入費	自筆原稿購入費等	662	共済費	社会保険料（非常勤）	1,112	需用費	消耗品費、印刷製本費等	1,475
旅費	近接地外旅費	417	需用費	消耗品費、印刷製本費等	749	共済費	社会保険料（非常勤）	1,315
役務費	所蔵資料保管業務等	286	賃金	資料整理臨時職員賃金	708	備品購入費	自筆原稿購入費	778
報償費	委員謝礼	144	旅費	近接地外旅費	517	旅費	近接地外旅費	742
使用料及び賃借料	資料賃借料等	63	役務費	トランクルーム保管料	477	役務費	トランクルーム保管料	667

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		24年度	25年度	26年度	27年度 見込み	目標値 (28年度)	
標	① 記念事業の参加人数（人）	85	78	200	250	300	文学館の開設に向けた周知イベントの参加者数
	② 文学館友の会会員数（人）			200	400	500	吉村昭氏の功績や作品を広く周知するための指標
	③						

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> <li>文学館の開設に向けて、区民に吉村昭及び吉村文学を周知する必要がある。</li> <li>より多くの方に友の会に入会していただく等、文学館の開設に向けた機運の醸成を図る必要がある。</li> </ul>
	他区の実況 （実施 11 区 未実施 11 区 不明 0 区） 文学館設置区 中央区、新宿区、文京区、台東区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、杉並区、北区、練馬区

問題点・課題の改善策			
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度に実施した改善内容および評価	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	文学館の開設に向け、その情報を全国に発信していくとともに、氏の功績を広く周知するため、友の会のような賛助組織を設ける。	吉村昭記念文学館友の会を平成27年3月7日に設立し、約1か月で200名の方に入会いただいた。	文学館の認知度の向上と、区内の機運の醸成を図るため、友の会の普及活動や、開設イベントを実施する。
②	常設展のパネル等での使用を念頭に、他自治体や関係者の協力を得ながら、幅広く関連資料や証言等を収集し、研究を行う。	吉村昭氏が取材で度々訪れていた地域の関係者からの証言を収集し、映像に収める等、常設展で使用する素材の作成に努めた。	文学館の常設展示の内容を詳細まで固めるとともに、文学館の開設にあわせて実施する予定の企画展示等の内容を検討する。
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
27年度	28年度	
重点的に推進	重点的に推進	広く区民に対して、吉村昭という作家と、その作品の紹介を継続して行うことにより、文学館の開設に向けた区内の機運の醸成を図る。

況議 （要 質 問 状）	平成18年一定：吉村昭氏の記念文学館又は図書館併設の記念文庫の設置について 平成18年三定：記念館の設置要望について 平成23年四定：文学館開館に向けた事前周知について 平成26年予特：文学館の応援団について
--------------------------	---